

Stage 1 More First Words

Is It?

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。Is it ○○? It is○○.と繰り返しのテンポがいいので、小さな子もすぐに覚えることができます。

■ お話をみていこう!

表紙: 箱から何か取り出しているね。

P1 キツパーなの? そうだよ。

P2 ビフなの? そうよ。

P5 チップなの? そうだよ。

P7 フロッピーかな? 最後は、一緒に拍手をしましょう。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

P7 「マントの上から、髪の毛が見えているよね。キツパーかな?」とお子さんに言ってみてください。本当はフロッピーですね。

P7 :フロッピーの前足を持っているのは、誰かな?

Is It? を、英語でやってみよう！

■ やってみよう！

1) Is It? ごっこ

元気いっぱいのお子さんに)

パパのシャツを着せるとピエロが出来上がります。バスタオルでもOK。

ただし、ピエロのキッパーになるには、逆立ちの練習が必要です。

お子さんの両足を持って、それっぽくなるようお手伝いしてあげてください。

2) ペープサートを使って人形劇をしてみましよう。

イラストに割り箸のような軸になるものを貼れば完成です。

表と裏とで違う顔にできるので、面白くなります。

子どもの身近な人が出てくるお話に変更も。

Is it ○○(おばあちゃん)？

It is ○○.と楽しい時間になります。



Get On

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後に水に落ちる音がします。

■ チェック

表紙: パパがバナナフロートに空気を入れてあります。息を切らしています。

P1 空気が入りました。パパが Get on.と言っています。P6 チップの表情を見てみましょう。チップは後ろに座っているので、バナナフロートの変化に気付いたのですね。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

P7 Kipper got on.の後、絵本をブルブルとゆっくり動かして、子どもに何かが起こる予感をさせましょう。

体験談“Get on”をアレンジして遊んでみました

・バナナフロートを、パパのお馬さんごっこでやってみました。2 人兄弟なので、人数合
わせにぬいぐるみを使いました。最後は、パパのお馬さんがふざけて暴走するので爆
笑になりました。

・お風呂のとき、丸めたハンドタオルをお湯に浮かべて、お風呂用の人形を乗せていき
ました。子どもが好きなキャラクターの人形なので、それ以来、ORT を読むときキャラク
ター人形を持ってくるようになりました。

Get on の英文はそのまま、

新しいお話を作ろう！

このお話は、バナナボートを別のものに変えるだけで、

キッパーたちの別のお話になります。

子どもの自由な発想で、乗り物と最後のシーンのアイデアが膨らむように

お手伝いをしてあげてください。

例)バナバボートから 変更した乗り物	最後の Oh,no!のシーンは？
イルカ	勝手に遠くへ行き始めちゃった。
シャボン玉	パッと消えちゃった。
大きい風船	空に飛んでいきそうになっちゃった。
ブロッコリー	つかまりにくくて落ちちゃった。
ハリネズミ	痛くてみんな逃げちゃった！(＊)

(ORT Stage 1 Hedgehog を読んだ子どものアイデアです)

子どもが主人公のお話に変じ！

英文の Biff,Chip,Kipper を、お子さんやお友達の名前に変えると、

お子さんが主人公の特別なお話になります。

お話が完成したら、手作りのミニ絵本を作ってみましょう。

Floppy did This

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。

チェック)表紙:みんなで何を見ているのかな?

P1 パパはチップに何と言っているのかな? P3 パパが、キッパーを描いた絵を見てい



ます。こんな風にじっくり見てくれると、ビフもうれい
すね。P4 キッパーは、ビフが自分の名前を書いているの
を、まっすぐ見て拍手しています。P6 キッパーがママと
いう字を書いています。ママが、誉めていますね。P8 フロ
ッピーの得意げな顔も微笑ましいですね。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

読み聞かせの途中で、キッパー家族といっしょに拍手をしましょう。褒め言葉も言いま
しょう。(Good! It is Great! など)

■ やってみよう!

子どもたちは、絵の下に名前を書いていますね。P8 フロッピーの絵には、名前が書か
れてありません。フロッピーの名前を書けるかな?

()

2) P2 と P4 を開いて、_____ に名前を書きましょう。

P2 What is Chip writing?

He is writing _____ .(Biff)

P4 What is Biff writing?

She is writing _____ .(Kipper)

Floppy did This の英文を使って

日本の文化を紹介しよう！

Who did this?



Chip did it.



Biff did it.

ほかにも、外国人の先生やお友達に紹介したいものを
考えてみましょう。

Get Dad

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後の水の音が聞こえてきますね。

Go on, Dad ! Get ~.とテンポよく繰り返されます。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

7P のママの顔を、付箋で隠しておきます。Go on, Mum!の後、子どもにはがせましょう。

表紙: パパの水鉄砲、ものすごい勢いです。

子どもたちはパパに追いかけてもらって、水をかけてもらう遊びをしています。

パパ、いいよ！ウォーターガンを持って追いかけます。

■ やってみよう！

Get~を使って、海の生き物をつろう！

用意するもの：

- ・紙に描いた海の生き物のイラストを切り抜いて、磁石をつけます。
- ・チラシを丸めて筒を作りましょう。竿になります。
- ・ビニールプール(水は入れません)または、水を表すものを、床の上に置いても OK。

Get _____.

_____に、生き物を表す英語を入れましょう。

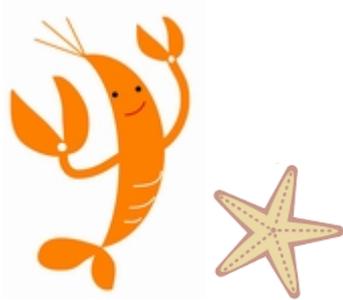
an octopus,



a dolphin,



a starfish



お子さんが好きな生き物も、入れてあげてください。

Up You Go

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後、パパの情けなそうな声が愛嬌がありますね。GO! Go, go ! Go,go,go ! No,no,no ! とテンポがよく、英語のおしゃべりが出てきそうです。

■ 絵本の読み聞かせ

お母さんの声、またはCDや音声ペンに合わせて、ページをめくりましょう。

■ チェック

・季節はいつかな？

★お話が終わった後、クイズを出してみましょう。

一番最初にすべったのは、だれかな？

2番目に滑ったのは？フロッピーも滑ったかな？

パパが滑ったらどうなったかな？

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

Up You Go のお話に合わせて

手づくり滑り台あそび

古新聞や雑誌の山に、段ボールやスケッチブックを立てかけて、滑り台を作ります。

ミニカーのような車輪のあるものや、ビー玉に名前を付けて、

Up you go, _____.(_____に、名前)と声をかけて、転がしてみましよう。

材料



* Get Dad のやってみよう！でご紹介している釣りのプールがある場合は、滑り台からプールに滑り込むようにしてみてください。

プールの中に、ジョーズがいたりタコが吸いついてきたり、発展させることができます。

I See

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。

■ お話を見ていこう！

表紙：キッパーが手で双眼鏡を作っています。P1 キッパーが望遠鏡で、ビフを見えています。チップはボディビルダーのように、パパとママもペアでポーズをとっています。P4 チップとビフと一緒に見始めました。段ボール箱やフロッピーの家の入り口から見えています。P6 星形のメガネや鏡も見えています。P8 キッパーが見たものが並んでいます。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

I see _____ ! キッパーみたいにのぞいていきましょう！

ラップの芯で望遠鏡を作ります。長さが短い場合は、双眼鏡に。

・葉っぱや、みかんの粒のような、普段は細かく見ないものも観察してみましょう。「ミツケ！」(I Spy)や「ウォーリーをさがせ」のように、探しっこ絵本を使ってもOK。ラップの望遠鏡で見ると難度が上がります。難易度を上げたい小学生には、ティッシュペーパーが切れたばかりの空き箱に、時計を入れて、

取り口のナイロンのところから、中の時計の秒針を読ませましょう。

・おうちの中にある、チェック柄のもの、ストライプ、水玉のような模様も探してみましょう。

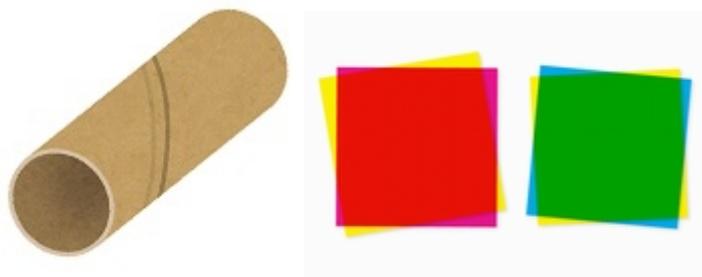
レンコンの穴や、ドーナツ、じょうろ、お弁当を作る型抜きからのぞくとどうなるか、見せてあげましょう。

■ やってみよう！

キッパーみたいに、色んな見え方を楽しもう！

望遠鏡や双眼鏡を作ろう！

材料)



作り方は無し！お子さんの自由な発想で作ってもらってください。

* クイズは果物の断面図など、ほんの少しひねってみましょう。



著者：森藤ゆかり

「2000年、英語子育てサイト「R-Train」を開設。
以降、20年以上に渡り、英語子育て中のお母さんたちと情報交換を続けている。

息子りくくんが、ORTに出合ったのは4歳。
現在、バイリンガルに成長したりくくんの子育てや、コミュニティでの経験から、
英語が苦手なお母さんでもできる、英語の絵本に親しむアイデア、
また、家庭教育について幅広く発信している。

著書「+(プラス)えいごではなまる子育て」(アルク)「はじめての絵作文ブック」(すばる舎)ほか」